



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2010~2011)

- ・ **国際協会会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』  
藤井 寛敏 (東日本区 東京江東クラブ)  
スローガン 『Build a Bridge to the Future』  
「明日《あす》への橋を架けよう」
- ・ **アジア地域会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』  
高田 一彦 (東日本区 横浜クラブ)
- ・ **西日本区理事** 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』  
「Forward with Y's men's spirit in our hearts」  
仁科 保雄 (京都キャピタル)  
副 題 『Let's meet challenge with calmness』 「泰然自若の精神で」
- ・ **六甲部 部長** 『Show Y's care, Sow the seed of Y's』  
安行 英文 (さんだクラブ) 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」
- ・ **西宮クラブ 会長 馬場 一郎** 『交わりを大切に、クラブライフをエンジョイしよう』  
「Let's enjoy our club life through friendship!」

2011年3月

754号

64期9号

since 1948.5.17

スポンサークラブ  
大阪クラブ  
DBC 締結  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

## クラブ主役員

- 会 長 馬場 一郎
- 直前会長 浅野 純一
- 副 会 長 瀧崎 進一
- 副 会 長 清水 彬久
- 書 記 廣瀬 一雄
- 書 記 阪根 新
- 会 計 岩田 健司
- 会 計 足立 康幸
- 監 事 藤原 百合子
- 担当主事 三島 浩司
- 六甲部監事 山口 政紀
- 部広報主査 浅野 純一
- 区次期交流 廣瀬 一雄

2011年3月 西日本区強調ポイント“EF・JWF” 個人や、家族や、クラブなどでの色々なハピ-ニュース・ラッキーニュースを記念して、ワイズゲーム発展のために献金しましょう。杉浦英ファンド 事業主任 (奈良クラブ)

## 2011年3月第1例会のご案内

日時: 2011年3月18日(金) 午後7時~  
場所: 西宮YMCA 保育園3Fホール  
ドライバー: 山口政紀メン、浅野純一メン

- 1. 開会点鐘 馬場会長
- 2. ワイズソング 一同
- 3. 聖句朗読
- 4. ゲスト紹介 馬場会長
- 5. 食前感謝
- 6. 会食 一同
- 7. ゲストスピーチ 大町佳代さん  
「モザンビーク いのちの記録」 = NGO 活動報告 =
- 8. お誕生日のお祝い
- 9. Y's ニュース・お知らせ 馬場会長
- 10. YMCA 報告 三島主事
- 11. 閉会点鐘 馬場会長

## 今月の聖句

『わたしは信じます 命あるものの地で主の恵みを見ることを。主を待ち望め 雄々しくあれ 心を強くせよ。主を待ち望め。』

詩編 27 編 13 ~ 14 節

清水彬久メン 選

2月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会 (2.18金)	第2例会 (2.4金)
メ ン 16名	メ ン 12名
ネット・コメント 1名	メネット 0名
ゲストビジター 8名	ゲストビジター 0名
合計 25名 make-up 5名	合計 12名
出席率 95.5%	

ファンド・BFの累計	2月	累計
ニコニコ ファンド	3,000 p	30,602p
Brotherhood Fund	5,100 p	24,300p
使用済切手(新規カット)	240 g	240 g
Family Fast	11,900 p	

## Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

3/23 清水順子ネット 3/26 長井慎吾メン

1 3/24 藤原俊夫ハズバツ

## 会長メッセージ

馬場 一郎 会長

先回の例会で西宮 YMCA とサポートクラスの現況報告をしていただきました。1994年に西岡先生、田畑さんらが中心になって、当時は「LD（学習障害児）クラス」として開始されたプログラムです。私はそのとき、むかえの教育棟（現在刺繍会社）で予備校、高校生科を運営していました。

当時、進学教育にどっぷりついていた私は「学習障害」という子どもたちの存在に驚きを覚えました。予備校や高校生科で、勉強していない子ども、サボっている子どもを叱咤激励し、なんとか学習時間を確保しなさいと、口すっぱく言ってきました。中にはその激励に応じてくれて学習時間が少しずつ増え、成績がみるみるアップしていく子どももいます。でも何人かは何度言ってもできない。学習時間も取れているようにみえても集中できてない、覚えることができていない子どもがいました。そのような子どもを私は、やる気がない、本気になっていない、さぼりであると決めつけていたように思います。それが「学習障害」ということに出会って、「もしかしたら、彼らは勉強しなかったのではなく、できなかったのではないか」ということに気づかされたのです。

竹田先生は「LD」を「Learning Disability」（学習障害）ではなく、「Learning Difference」（学び方の違う子ども）と言われました。強いところを伸ばして、弱いところをカバーできる学び方、ひとりひとりに違った指導計画がある。そんな障害を個性として受け入れることができる社会は来るのでしょうか。そんなことをしっかり押さえてサポートクラスの支援を考えていけたらいいなあ、と、改めて思いました。

## 2月例会報告

ドライバー 清水 彬久メン

2月第一例会は、ゲストの8名を含め参加者25名で開催された。最初に1月に続き2名の入会式が行われる。



入会式の様子（山口吉郎メン、万本敬一メン）

入会者は万本敬一、山口吉郎両氏で六甲部 EMC 事業部主査齊藤勲メンの立会で入会式辞・誓約が厳粛な中で進行し無事終了、今後の活躍が期待されます。次に、恒例となっているタイ・ワークキャンプに参加する山本リーダーに対して支援金の授与が行われた。



支援金の贈呈を受けお礼の挨拶をする山本リーダー

今年は障害者施設の建設に従事し、各国からの参加者たちと交流を深めたいとの抱負を述べられ、帰朝報告が楽しみである。今月のゲスト・スピーカーは山根西宮 YMCA 館長に「同館の現況報告」そして野村氏から「サポートクラス」について、それぞれ話してもらうことで西宮 YMCA の活動をより理解する機会に

することにした。



例会風景 (LD 教育支援活動の説明をする山根館長と野村主事)

山根館長からは、事業が以前の予備校・幼児教育から保育園・サポートクラスに移行してきている。その内容としては保育園(65名)の幼児を預かり、財団事業ではYMCAとして最初に取り組んだサポートプログラムを開始して16年が経つ。全体の活動としては室内・野外・学童保育に分類でき、室内では一般・発達障害者に対する絵画教室、課外活動ではサッカー・バスケットボールクラブ(140名)、野外活動では日曜デイキャンプを4グループ(188名)で行っている。そして学童保育は西宮市の指定管理制度によって現在2校(215名)を引き受け、今後この分野をさらに充実していきたいという概要説明があった。一方野村氏からは、サポートプログラムについて、約200名の発達障害の子供たちの学習・教育とそのコミュニティ作りを目指している。今後の課題としてはファミリー対象の企画をしていきたいとの報告があった。このような内容に対して質疑応答があり、ワイズとしても過去色々関わってきたが、引続き一緒になって検討していこうということになった。

例会終了後、入会者の歓迎会を兼ねゲストの近江八幡の平田会長ら4名・斉藤勲メン・山根館長も参加いただきしゃぶしゃぶをつつきながら楽しい交流の場をもった。

## 西日本区だより③

2011～12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン

2月4日(金)に西宮クラブの役員会(第二例会)がありました。私からは先月の次期役員研修会の報告をさせていただきましたが、当日の議題は2月例会、3月例会の持ち方とその内容が主でした。

2月では特に山口さん、万本さんの二名の入会式があり、その後の新入会員歓迎会についての打ち合わせ等でした。

2月5日(土)には新神戸近くの竹友クラブでかつての神戸YMCA少年部OB・OG会に参加しました。今ワイズメンであるのもここからだと思います。この会には元担当主事さんの参加もあり、熱心なお世話役により継続して催されている次第です。二十数名の出席でおいに盛り上がりました。

2月6日(日)はメネットと一緒に、ホテルクライトン新大阪で催された大阪西クラブの100人例会に参加しました。“カンボジアに学校を造ろう”運動達成例会ということで百余名の参加者で盛況。今年も桂 文福・森乃福郎のお二人の落語ライブで笑いの会場。湯浅会長の閉会点鐘で幕となりました。



在大阪カンボジア王国名誉領事館渉外担当、クレンソックホアさんのご挨拶 写真中央右手には桂 文福師匠の姿も

2月12日(土)の午後には神戸YMCAで交流委員会がありました。



神戸YMCAで開催の交流委員会の様子

委員は3名。直前主任の谷本メンは東広島、現主任の平野メンは名古屋から。で私は西宮から。ということで近くからの出席で恐縮。

議題は当然のごとくYEEP・STEP、IBC・DBCのことでしたが、交流事業の継続、伝承に係ることが多く、次期交流事業への課題・要望を力強く述べられ次期会長・主査研修会へ向けての主任のありよう等ご助言をいただきました。当日オブザーバーとして次期LD委員長として活躍される神戸学園都市クラブの藤井ウイメンが同席され、我々3名はラッキーにもゴディバのチョコを頂く羽目となりました。

2月18日(金)は西宮クラブ第一例会。



IBCの近江八幡クラブから駆けつけた応援団に囲まれて祝福を受ける新会員山口メン

先のおふたりの入会式があり、うちお一人の山口さんはIBCの近江八幡クラブの安田メンのご紹介で従弟とのこと。近江八幡の応援団と斎藤主査と新入会の山口吉郎メンということで近江八幡から遠路はるばる平田会長、堀江メン、堀江ウイメンの4名がご参加くださった。2月19日(土)に大阪なかのしまクラブのチャリティコンサートに参加しました。今年度のメネット事業、豊島親愛館の子もたちのために、の支援です。大阪玉造にある大阪クリスチャンセンターホールでの開催で聴衆は三百数十名はおられたでしょうか？生雲会長の少し緊張気味のご挨拶で始まりましたが、会場では仁科理事、坂本メネット主任をはじめ多くのワイズの姿をお見かけしました。徳永延生トリオのクロマチックハーモニカ演奏会ではピアノもベースも素晴らしく、ハーモニカからあのさまざまな音色が奏でられるとは！との感動を戴きました。小野メンと神戸での区大会実行委員会仲間の大阪西の石合メネットとご一緒しました。

神戸YMCA創立125周年記念事業を成功させよう

## 125年を振り返って

(その8)

125周年記念事業実行委員長

長井 慎吾メン



125周年に際し活動の原点を振り返るため、

神戸YMCA125年の先達の偉業をレビューしています。

今回は、創立60周年記念と長田ランチ開設への取り組みです。戦後目覚ましい発展を推進する中、1958年4月の会員総会にて神戸YMCA創立60周年記念事業の提案がなされ、9月の理事会にて記念事業委員会が

組織されました。

諸活動は、創立60周年記念式及び感謝茶会、神戸青少年大会の開催、キャンプ施設の拡充と国際少年キャンプの開催、会館外柵、中庭、体育施設の整備、西部の産業帯でのランチの開設、「神戸YMCA賛助会」或いは「後援会」組織の確立、募金活動の展開とし、～までの事業に対し総額1千万円が目標とされました。これらの中で、YMCAが最も念願し、地域からの要望も強かったのが西部産業帯（長田地区）へのランチの開設であり、運動の新たな展開に会員各層、各組織の一致協力が不可欠であることから最重要課題でありました。

家内工業的な零細企業が集まる当地域では、中学を卒業して町工場で働く若年労働者達にとって厳しい労働環境であり、これといった余暇活動の場もなかっただけに、YMCAの進出は大きな期待が寄せられました。主事の今井や木島が中心となり調査を開始、関学や神戸女学院社会科の生徒、YMCAリーダーも加わり地区ごとの路上児童の動向と街並みの調査が展開されました。ワイズメンでもあった藤本昇は、進んで自らの家屋を提供し、1958年12月、松野通り4丁目にランチ仮事務所が設置されました。その年のクリスマス会は大いに賑わい、蓮池小学校校区、二葉小学校校区でそれぞれ千名の子供たちが集まり、主事やリーダーの演ずる紙芝居、歌やゲームで楽しんだとあります。明けて、1959年1月11日に60周年記念式が盛大に挙行されました。長田ランチは3月に木島三雄が初代主事として長田に入り、本格的なランチとする計画と同時に、会員募集に力を入れ着々と成果が見え始めました。社会全体が、安保条約改定阻止の動きに労働者や学生たちを中心に揺れ動く一方、皇太子のご成婚ブームとなる硬軟とりまぜた世相の中、神戸の中で最も困難な課題をかかえ、苦闘し続ける長田の地に、地道な調査と熱意によって青少年問題に取り組む一群があったのです。

創立60周年記念事業は、多くの人々に発展への過程を示しましたが、長田ランチの完成は、もう少し時間のかかるプロジェクトでありました。

\* [註] 当時神戸YMCAは1899年が設立(財団法人登記?)としていましたが、その後約30年前ぐらいに90周年史の編纂の時、1886年(今認定されている創立の時)が明瞭になりました。これは100周年の「神戸とYMCA 100年」(坂崎健治朗さん編纂)にあります。その時以来5月8日が創立記念日になりました。山口政紀註釈

## 第18回バレンタインコンサート

小野 勅紘メン



第18回目を迎えたさんだワイズ主催のバレンタインコンサート

例年になく昨夜からの雪が降り積もり底冷えのする建国記念日の2月11日、恒例のさんだクラブのバレンタインコンサートが14時から三田ウッディタウン市民センターで開催された。

昨年は関学大OBのダボーズのカントリーであったが、今年もすっかりカントリー続きで、西宮YMCAのすぐ傍のライヴハウスFort Worthから古橋照晃氏が奥方の由美さん、キーボードの長谷川京子さん、六甲部会でもその美声を披露された日高真里さんを伴って来場された。今年はワイズのメンバーがや、少ないようで寂しい。それでもYMCA関係やオープンで市民も入って会場は賑わっていた。古橋照晃氏のギターテクニックとお年にしては美声(失礼)で楽しく聴かせていただいた。選曲も比較的オジサン年代

に親しんだ曲であったのも救われた。最後に You Are My Sunshine を全員で歌ってお開きとなった。

帰りにはいつもの国際協力募金を献金し、バレンタインチョコを頂いて帰途についた。

## 大阪西クラブ落語ライブ100人例会

小野 勲紘メン

大阪西クラブの石合特別メネットのお誘いで、大阪西クラブの落語ライブ100人例会に廣瀬メン、メネットと参加した。2月6日(日)13時から、会場はいつものホテルクライトン新大阪の2階に100人を越すメンバーが集まった。



### 熱演する桂文福さんと聞き入る100人オデーメン

当日は日曜であったので、日曜礼拝後駆けつけたので、既に例会は始まっていた。西クラブがカンボジアで学校を寄贈した時の報告と、カンボジア国から表彰された様子等が写真を元に清水メンから披露された。お土産にもいつもの封筒が入っていた。

会食の後、お楽しみの落語の時間である。西クラブのOBでもある、森乃福郎さんに、桂文福さんが小気味のいい洒落を連発した。いつものギャグ連発の廣瀬メンも静かに聞き入っていた。小柄な森乃福郎氏と見る度に膨らんできた文福氏とはまことに以って对象的である。芸風も「静と動」、体型は「大と小」と

いったところ。楽しい午後を皆さんと過ごしてホテルを後にした。

## リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 さとう みどり 佐藤 碧さん

いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。

2月の野外活動では六甲山、月見山、風吹岩と山登りをしました。唯一幼児対象のエルマーのセクションでも初めて六甲山に挑戦し、頑張っ頂上まで登ることができました。しんどくて遅れているお友達がいても名前を呼んで励ましあっているグループの姿があり、みんなで協力して山登りをできたことがとても良かったと思います。また今年は雪もたくさん降り、雪とふれあいながら楽しめた例会でした。雪のふわふわな手触りや足でぎゅうぎゅうとなる感触を肌で確かめながら楽しんだり、雪だるまを作ったり、そりすべり・雪合戦をしたりして遊びました。雪があるからこそ、子どもたちもリーダーもいろんな発見ができたり、普段はできない体験ができたのでとても良かったと思います。

今年度も残すところ、1ヶ月となりました。3月は例会ファイナルキャンプや春のスキーキャンプ、また卒業するリーダーの感謝会などがあります。2010年度も最後までリーダー会一同、頑張っていきたいと思うので、ご支援よろしくお願ひします。



西宮YMCA 三島浩司メン

3月から4月。YMCAに集う多くの子ども達やリーダーたち、それぞれに「入学」「進級」「卒業」「就職」といった大きな節目を迎えます。西宮YMCA保育園でも、15名

の子ども達が巣立っていきますが、卒業アルバムのカードに「右手に夢を、左手に希望を」とのメッセージを贈りました。今から20年程前に、私が担当していた体操クラブ参加していた子どもと「夢」についてお話をしたことがあります。一人の女の子の「夢」は「オリンピックに出ること」でした。夢は叶いませんでしたが、夢に向かって懸命に練習をしていた姿が今も臉に焼きついています。日本だけでなく、世界中が大きく揺れ動いているこの時代、子ども達が将来に「夢」や「希望」を持って歩むことが難しくなっているように思います。けれども、このような時代だからこそ、子ども達には「夢」と「希望」を持ち、それぞれ自分の道をしっかりと歩いて欲しいとの願いを込めました。今春、YMCAを巣立っていく子ども達、また、それぞれに新しい学年に進級する子ども達、そしてリーダーたち一人一人が「夢」と「希望」を持ってそれぞれの場所で輝けるようにサポートして行きたいと思えます。また、私たち大人も、子ども達に負けないようにそれぞれに「夢」と「希望」を持って歩み続けるようにしたいと思います。

#### 今後の予定

##### 1) 西宮・宝塚YMCA卒業リーダー感謝礼拝

西宮・宝塚YMCAでご奉仕くださった今春卒業されるリーダーたちの感謝礼拝を行います。共に祝福していただければと思います。なお、卒業リーダーたちの都合により、平日午前中のつどいとなりましたことをご了承ください。

日時：3月11日(金) 10:00~12:00

場所：エピータホール(西宮市甲風園1-8-11)

##### 2) CPR(心肺蘇生法)・AED(自動体外式除細動器)講習会

西宮YMCAでは、2007年度よりAED(自動体外式除細動器)を設置していますが、地域の方々にも万一の時に有効に活用していただくために、使用方法等の講習会を行います。是非ご参加ください。

日時：3月12日(土) 10:00~11:30

場所：西宮YMCA保育園 3階ホール

参加費：無料

持ち物：タオル、動きやすい服装

申込：西宮YMCA保育園まで電話にてお申込ください。

##### 3) 西宮YMCA保育園卒園式

日時：3月17日(木) 10:00~11:30

場所：西宮YMCA保育園3階ホール

##### 4) ファミリースマイルハイキング

日時：3月21日(月・祝) 10:00~14:45

場所：甲山森林公園周辺(雨天時：西宮YMCA)

参加費：小学生以上500円(幼児以下無料)

持ち物：お弁当、水筒など

申込：西宮YMCAまで電話にてお申込ください。TEL：0798-35-5987

## 西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン(保育園園長)  
(西宮YMCA保育園だより1月号より)

### 2月の主題:じゅくりと

2週間、20時間、3時間10分、2時間25分、1時間。この時間は、東京~大阪間の移動時間の变化です。徒歩で移動していた江戸時代にはおよそ2週間余りかかっていたようです。鉄道が開通した明治時代には20時間に。そして、新幹線「ひかり号」の登場により3時間10分に。現在の「のぞみ号」では2時間25分。近い将来、「リニアモーターカー」が登場すれば1時間に。わずか150年ほどの間に336分の1に短縮されたこととなります。この他にも飛行機や携帯電話、メール、インターネットなどの発達によりさまざまな時間の進み方が驚異的な速さで変化しています。何百年、何千年、何万年の間、私たち人間を取り巻いてきた「時の流れ」のこの変化に、私たちの心や体はついていっていかれているのだろうか心配になります。子どもたちは、このような「時代の流れ」に押し流されている大人たちと共に押し流され、一人の人間として成長していくために必要な「挑戦」や「模索」、「発見」といった体験をする機会がどんどん奪われてしまっているように思います。ゆり組の子どもたちが、今、「こま」に挑戦しています。こま回しという遊びの中で、紐の巻き方、こまの持ち方、投げ方、放し方と様々な「挑戦」「模索」「発見」を繰り返しています。中には、上手く回せず、すぐに諦めてしまいそうになる子どももいますが、「上手く回す」という先にある喜びに向かって、また、色々な遊びや創作活動などにも「じゅくり」取り組んで欲しいと願っています。「神は愛」これは、イエス様の教えの根っこです。私たちの生き方や考え方に関係なく、むしろ神様から遠く離れ

て歩んでいる者をも含めて、神様は私たちを愛してくださっています。クリスマスの時期に、「よい子にしていればサンタさんが来るよ。」という言葉をよく聞きますが、これはイエス様の教えとは違うように思います。「よい子」にしていればサンタさんが来る。神様に愛される。というものではありません。神様の愛はむしろ「よくない子」により大きく注がれているのですから、サンタさんはやってくるべきだと思います。この神様の「愛」に気づき、感謝の心が芽生えたときには、私たちはイエス様に向かって成長しているのです。そして、この成長とは、高ぶらず、柔和に、寛容の心を持ち、愛を持って、平和の絆で結ばれ、イエス様と共に歩いていくことです。子ども達一人一人が、神様の「愛」を受け入れ、感謝の心を持ってイエス様と共に歩んで行きたいと思えます。

2月聖句: 私たちは、キリストに向かって成長していきます。  
(エフェソの信徒への手紙4章15節)

## 音を重なる日々は心を重なる日々に-46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム  
LOVE 代表ひがしの ようこさん  
音を重なる日々は心を重なる日々に  
- 47 今月もお休み  
濱 浩一メン

## ワイズニュース 馬場 一郎 会長

### 1. 西日本区次期会長・主査研修会

日 時 : 3月12日(土)13:00~  
13日(日)15:30

場 所 : チサンホテル新大阪

登録費 : 17,000 円

### 2. 第2回六甲部評議会

日 時 : 3月20日(日)14:00~18:30

場 所 : 神戸YMCA1階チャペル&

4階 サイコー亭

参加費 : 3,000 円

(登録費500円・懇親会費2,500円)

### 3. 六甲部準備役員会

日 時 : 5月21日(土)14:00~17:00

場 所 : 神戸YMCA

### 4. 5月度第一例会日程変更

日 時 : 5月20日(金)

5月21日(土)17:00

場 所 : ヴォーリス六甲山荘

### 5. 第14回西日本区大会

日 時 : 6月11日(土)~12日(日)

場 所 : ウェスティン都ホテル京都・  
京都国際交流会館

登録費 : 16,000 円

## 水の流れるままに39

(俳句) 山野 直行(小野勅紘)

追ひ風が背に押しくら 雪の道

(今年の冬は例年になく寒さが厳しい。今まで暖冬になれてしまっていたが、夏は暑く冬は寒いのが普通であったのだ。本来の季節感が戻ってきたといえば聞こえはいい。だが本当に寒い。雪の道後から強風が背中を押してくる。まるで吹雪と押しくら饅頭のような。)

ランドセル またねと声が 春近し

(昼下がり学校が引けたのか子供たちが足早に駆けていく。背中に背負ったランドセルがカタカタと鳴って、小さな体に大きなランドセル。まるでランドセルが走っているようだ。辻の来たところで二人は「またね」と手を振り分かれていく。声が華やいているようで、春はもうすぐそこまでやって来ている。)

壬生寺に 邪鬼の舞ひたり 節分会

(毎年節分の時期になると、壬生寺では恒例の節分会が行われる。雪混じりの寒風の中舞台では旧暦最後の晦を節分で邪鬼が舞って、お決まりの豆まきで退治される定番の壬生狂言<無言狂言>が演じられる。先着客には善哉が振舞われて、それを目当てに今年も賑わっていた。)





# 東海道中五十三次ワイズ栗毛道中一第7巻

小野 勲紘メン

[ 珂凄李繳 ]

[ 鎌ケ毛繳 ]

《京急珂凄李》 歩歩歩歩歩歩歩 《JR瘦炮ケ毛》

日本橋～横浜: 32.2km、20時間

横浜～保土ヶ谷間: 4.9km、3時間

東海道中五十三次ワイズ栗毛行脚も4年目、7回目になる。毎回欲張りでも多目的な強行軍。

## 第33回世界クラシックカメラ市(銀座松屋)

毎年この時期、銀座松屋の「世界のクラシックカメラ市」で上京してきた。昨今は資金難でもあり、メモだけの品定め。昨年長年の夢の映画「ローマの休日」由来のライター型カメラ「エコー8」をゲットしたが、同じ位の価格にホッと。

## 同期会の集まり

時期を合わせて東京の同期の仲間と毎年旧交を温めている。今年は仙台の友人を除くいつもの4人の仲間が集まってくれた。食事とともにして昨年適わなかった旅行の話で盛り上がる。元気な内に行きたいものだ。音頭取りの発案で、常磐ハワイ、草津、浜松あたりの意見。

## 東京マラソンに遭遇

当日はいつになく温暖を通り越して暑い日。熱気の銀座で「東京マラソン」に遭遇。その様子は翌日の新聞に市民ランナーが3位に入って世界陸上の出場を決めたと掲載された。

## 松沢資料館訪問(賀川記念館)

更にもう一つの目的は、賀川豊彦記念「松沢資料館」の訪問。賀川豊彦が神戸生田川の貧民窟に献身に入って14年目の1923年に関東大震災が起き、活動の場を東京に移す。ここ松沢(現在は上北沢)に、松沢教会を作り活動の拠点となった。松沢教会、付属幼稚園、賀川豊彦記念「松沢資料館」が設置され

ている。資料館は新宿から京王線で20分ほどの上北沢駅からすぐのところあった。新装なった神戸の賀川記念館のイメージからは、教会や付属幼稚園の敷地の大きさの割



には、規模はやや小さい。経年の老朽化も否めない。コンパクトな展示資料を拝見して回っていたら、講堂で保育士さんの研修会が行なわれていた。学芸員の杉浦秀典氏が丁寧に案内下さって、賀川豊彦献身100年の記念誌を頂戴した。また帰り際に賀川先生の備忘録を纏めた貴重な「溢恩記」なる本を買い求めて資料館を後にした。この溢恩記というメモ帳は賀川先生の講演や原稿の下書き(複製版)であるから、賀川先生の発想の原点に触れることができた気がする。冒頭にはエレミヤ書31章18-26の「エフライムの嘆き」が記されていた。もちろん中ほどには有名な詩「涙の二等分」(原文)があり、最後には何故か芸妓税(こんな税があったのか)の新聞記事が貼ってあった。全体を通して筆や万年筆で書かれ、実に達筆で博識である。大正元年12月17日とあるから1912年といえば、貧民窟に献身に入ってまだ3年目、24歳の頃であろうか。当時既にこれほどの詩作や研究がなされていたとは驚きである。ハル夫人と結婚する前年か。表紙の溢恩の横にはその由来として、詩篇23編から「我が喜びは今満つるを得たり、我が杯は溢るゝ也」とある。詩篇23編は最後に「命のある限り、主の家に私は帰り、生涯そこにとどまるであろう」と締めくくられる。ここが賀川イズムの原点なのか。

## 東海道五十三次ワイズ栗毛道中行脚

ようやく本題であるが、今年は調布の妹宅に一泊してスタート。春めいて温暖な前日に比べ28日は朝から、6 という厳寒の上に、夜来からの雨天。小雨を待って出立が遅れる。昨年8月の横浜国際大会以来。まずは京急神奈川駅の「神奈川宿」に戻ってスタート。勝海舟設計の神奈川台場跡から青木橋を渡ると正面に本覚寺。



ここは元はアメリカ領事館跡。神奈川宿は「台」と呼ばれる緩やかな坂になっている。大綱金比羅神社を過ぎると、文久三年創業の料亭「田中家」の壁に十辺舎一九の「東海道中膝栗毛」の一節と広重の描いたレリーフが嵌め込まれている。台を上り切ったら外国人保護のための神奈川台関門跡がある。坂を下ったところから宮前商店街を通る。橋樹神社、相鉄天王町駅、香象院見光寺、問屋場跡、高札場跡、編照寺を過ぎると程ヶ谷(保土ヶ谷)本陣に至った。本陣とは大名行列時用の大名の宿泊所で、家来たちはその下の「脇本陣」に泊まった。一般の旅人は旅籠に泊まった。

## EMC通信4

EMC 委員 小野 勅紘メン

「増員目標」を達成しよう!

### EMC活動月次報告

#### 1. 増員計画

今期のEMC活動は、皆様のご努力で順調に進んでおります。2月末現在3名増員で当初の目標2名を上回っています。これは偏に入会されたご本人もさることながら、その労を取られたスポンサーの皆様の尽力も大いに貢

献いただいております。特に2月には2名の増員がありました。近江八幡クラブの安田メンのご尽力に感謝いたします。この勢いを維持して今期の活動を盛りたてましょう。

#### (増員) M

現在数	目標	増員数	合計	増加率
19	+2	+3	22	150%

入会者：石井恭子ウィメン(1月)、  
万本敬一メン、山口吉郎メン(2月)

#### (出席率) C

月	在籍	出席	MU	合計	出席率
7	19	18	1	19	100%
8	19	14	1	15	78.9%
9	19	18	1	19	100%
10	19	13	6	19	100%
11	19	16	0	16	84.2%
12	19	17	1	18	94.7%
1	20	18	2	20	100%
2	22	16	5	21	95.5%
通算	156	130	17	147	94.2%

#### 2. 出席率

2月末現在で平均出席率94.2%を維持しております。これも西宮クラブのメンバーの意識の高い証拠で止むを得ず欠席になった場合も確実にメイクアップを励行頂いて、出席率の確保に貢献いただいていることです。今後ともこのメイクアップの効果的な利用によって出席率を維持していただきたいと思います。さらに驚くことに、今期は現在までに100%を4回も達成していることです。

#### 3. MU(メイクアップ)制度の活用

ワイズの第一例会に出席出来なかった場合「MU(メイクアップ)」制度でカバーして下さい。

同クラブの第二例会、他のクラブの例会、重複して出席出来なかったYMCA行事。

(近2ヶ月の予定表)

小野メンカ作

＜今後の予定＞		
＜ドライバーの予定＞		
15	小野、清水	※60周年記念誌編集作業 第2-4全編7日:00
17		※4クラブ共同祝賀会実施
3月(ドライバー:山口、森、松野)		
休講月間:MF・FWF		
18	★	神戸YMCA 60周年記念式典
19	★	神戸YMCA 60周年記念式典
20	★	神戸YMCA 60周年記念式典
21	★	神戸YMCA 60周年記念式典
22	★	神戸YMCA 60周年記念式典
23	★	神戸YMCA 60周年記念式典
24	★	神戸YMCA 60周年記念式典
25	★	神戸YMCA 60周年記念式典
26	★	神戸YMCA 60周年記念式典
27	★	神戸YMCA 60周年記念式典
28	★	神戸YMCA 60周年記念式典
29	★	神戸YMCA 60周年記念式典
30	★	神戸YMCA 60周年記念式典
31	★	神戸YMCA 60周年記念式典
4月(ドライバー:飯橋、郷)		
休講月間:YMCAサービス・ASF		
1	★	西宮YMCA 60周年記念式典
2	★	西宮YMCA 60周年記念式典
3	★	西宮YMCA 60周年記念式典
4	★	西宮YMCA 60周年記念式典
5	★	西宮YMCA 60周年記念式典
6	★	西宮YMCA 60周年記念式典
7	★	西宮YMCA 60周年記念式典
8	★	西宮YMCA 60周年記念式典
9	★	西宮YMCA 60周年記念式典
10	★	西宮YMCA 60周年記念式典
11	★	西宮YMCA 60周年記念式典
12	★	西宮YMCA 60周年記念式典
13	★	西宮YMCA 60周年記念式典
14	★	西宮YMCA 60周年記念式典
15	★	西宮YMCA 60周年記念式典
16	★	西宮YMCA 60周年記念式典
17	★	西宮YMCA 60周年記念式典
18	★	西宮YMCA 60周年記念式典
19	★	西宮YMCA 60周年記念式典
20	★	西宮YMCA 60周年記念式典
21	★	西宮YMCA 60周年記念式典
22	★	西宮YMCA 60周年記念式典
23	★	西宮YMCA 60周年記念式典
24	★	西宮YMCA 60周年記念式典
25	★	西宮YMCA 60周年記念式典
26	★	西宮YMCA 60周年記念式典
27	★	西宮YMCA 60周年記念式典
28	★	西宮YMCA 60周年記念式典
29	★	西宮YMCA 60周年記念式典
30	★	西宮YMCA 60周年記念式典
31	★	西宮YMCA 60周年記念式典

メーカー等にご活用下さい

し、昨年関係会社を退職しました。現在は、嘱託として引き続き同会社にて勤務しています。内容は、建物施設のリニューアル等建築関係の仕事(企画、営業)です。

4. 地域活動・・・

ほとんど経験はありません。これから、何か地域に役立てることができたらと考えてます。

5. 趣味・・・

旅行・ドライブ・カメラ・音楽・・・と幅広く好きです。スポーツはあまり得意ではありません。飲食は、お酒は好きですが弱い方で、B級グルメと蕎麦屋巡りが主です。

# 新会員のプロフィール

## 山口吉郎メンの プロフィール



- 出身・・・  
2回ほど転居して  
ますが、ずっと  
尼崎は塚口に在住してます。  
学校も勤務先もすべて関西で、一度も塚口を出たことがありません。
- YMCA活動・・・  
YMCA活動は全くありませんが、土佐堀予備校でお世話になったという繋がりがります。授業の合間や放課後に、YMCAの事務所に遊びに行ったりしました。夏には六甲山の研修所に泊り込み、勉強？をしたのを懐かしく思い出します。
- 職業・・・  
会社員。550年にガス会社に入社

## 万本敬一メンの プロフィール



X'mas 例会で熱唱する万本メン

- 出身・・・  
神戸生まれの  
神戸育ちで  
ずっと東灘に住んでいます。
- YMCA活動・・・  
活動はありませんが、昭和43年に神戸YMCAホテル学校卒(2期生)です。
- 職業・・・  
自営業(建築・建材の販売&駐車場経営)
- 地域活動・・・  
全く経験ありませんが地域に役立つ活動は必要と考えてます。
- 趣味・・・  
絵を描く(油絵、水彩)、ゴルフ、カラオケ、B級料理を作る(カレー、焼きそば、お好み焼、パエリア等) 酒は日本酒・ビール・ウイスキー等何でも好きです。

## ゲストスピーカーのプロフィール

ゲストスピーカー 大町佳代さん

平成 20 年度 3 次隊青年海外協力隊

大町 佳代(西宮市/モザンビーク/青少年活動)

活動内容:音楽・ダンス・美術などの指導。指導して行く講師の育成、また、ダンスを通して知識伝達(HIV/AIDSなど)

抱負:とにかく元気いっぱいアフリカ・モザンビークにて楽しみます!! 少しでもたくさんのアフリカの文化を吸収して、学んできます。

JICA 兵庫 HP より転載



入所者の女性にアドバイスする大町佳代さん  
(右、カンボジア・アンコールクラウ村の  
CVSG JAPAN 自立支援センターで)

YOMIURI ONLINE 岡山版より転載

浅野純一メン

(西宮今津高校で勤務中の生徒で、  
1999年3月高校卒業  
関西学院大学社会学部卒業です)

1. 肩書きは難しいのですが、  
Humana People to People (NGO)  
Health Alliance International (NGO)  
JICA(独立行政法人)で活動しています。

2. タイトルは  
専門領域におけるソーシャルワークの可能性  
~モザンビーク いのちの記録~です。

## 会費納入のお願い

足立 康幸  
岩田 健司

西宮クラブ本年度、下期会費納付時期となっております。まだ納付されていないメンバーは下記の口座へ振込下さい。宜しくお願い致します。

記

振込先 三井住友銀行 夙川支店  
普通預金口座番号 3230220  
西宮ワイズメンスクラブ 山口政紀

編集後記 プリテン委員長 山本 常雄

小生は今、星野仁彦氏の『大人の発達障害』(祥伝社刊)という本を読んでいます。

心療内科医であり、ご自身も発達障害者であると宣言される著者・教授が問題視されるのは、ADHDやLDのDisorderを『障害』と訳してしまった事だといわれます。

本来の意味はアンバランス・凸凹くらいの意味を『障害』と訳してしまったことで、関係者の対応を困難にしている。会長

メッセージの中で述べられているように Learning Defference 『学び方の違う子供たち』〔それは個性である〕と言う感覚できちっと弱点補強教育を行なうことと我々が彼らの特性をよく理解することで、共働社会も構築できると思います。我々は自分たちは健常者だと思っていますが、各人それぞれ相応の強い個性を持っている人が多く居られ、見方によっては軽軽度のLDの可能性がありません。でもそんなことは大して問題にはなりません。こんごYMCA関係者は、障害 障がいの書き換えを超えて、星野氏の提唱される『発達アンバランス症候群』乃至その趣旨の造語を考え使用したいものですね。